はじめに

本書は、NBL（商事法務）の2024年４月から2025年９月までの17回にわたる連載に、最新情報等を加筆し、内容に応じて編集したものであり、個人情報保護委員会の監視・監督活動における事案対応を基にして、個人情報等の適正な取扱いを確保するための方法等を解説している（なお、本書の執筆は、当委員会事務局に籍を置き、監視・監督の実務に携わった者が担っているが、本書で示された意見は執筆者に属し、当委員会の公式の見解を示すものではない）。

当委員会は、これまで、多数の漏えい等事案や個人情報保護法に関する総合的な案内所（個人情報保護法相談ダイヤル）等に寄せられる情報等を活用した不断の監視等により発覚した個人情報等の不適切な取扱事案等について、事業者等に対して、指導・助言、勧告等の法執行を行ってきた。また、これらの事案を基に、発生原因、再発防止策等の調査・分析や注意喚起等の情報提供も行っている。

本書は、こうした監視・監督活動の視点から、法令およびガイドラインの読み方を整理して、できるだけわかりやすく、漏えい等や不適切な取扱いが発生しないよう、事業者等の皆様にとって実務的に役立つと思われる運用面の留意事項を解説することを目的としている。

個人情報等の取扱いについて、平時から法令を遵守し、安全管理措置を適切に講ずることが肝要であるが、実際の漏えい等事案の原因や不適切な取扱事案の問題点の分析結果は、こうした事案発生を防止するための対策を講じていく上で有効である。また、万一、こうした事案が発生した場合に的確な対応をとることができない場合には、個人の権利利益の侵害がより深刻化するおそれがあるほか、組織に対する信用を毀損することにもなりかねない。したがって、事案発覚後の実践的な運用面の留意事項を理解しておくことも大切である。

本書が、個人情報等の適正な取扱いのために日々心を砕いておられる事業者等の皆様にとって、一助となれば幸いである。

令和７年12月

片岡秀実　小和田敦子

目　次

第１編　個人情報保護委員会の監視・監督活動等

第２編　漏えい等報告の対応

第3編　具体的な漏えい等事案と安全管理措置